

～療育指針～

1. 子どもの発達段階に合わせたアプローチを行う。

子ども一人ひとりの成長に合わせた適切な療育を行います。

2. メリハリをつけて療育を行う。

「静」と「動」のメリハリをつけ、意欲的にしっかり学べる療育を行います。

3. 専門的な療育を行う。

異なる子どもたちの特性に対応するために、プロとして専門性を持ち療育手法を検討し、臨機応変かつ柔軟な思考で療育を行います。

4. 社会性を育む療育を行う。

小集団の活動を通して、他者との関わり方を学べる療育を行います。

5. 子どもの自信になる療育を行う。

できたことや挑戦した過程を認め、自己肯定感を高める楽しい療育を行います。